

# 埼玉県親善大使レポート Ene.

あけましておめでとうございます

メキシコも年が明けて、日本から一足遅ればせながら2016年が始まりました。

今思うと、去年の今頃はこのプログラムに応募するためのエッセイを書き直しに書き直し、その他諸々の応募書類を集めるために奔走し、さらに大学生活最後のテストも重なり、とてもバタバタしていた時期でした。

有難いことに埼玉県からの推薦者として選んでいただき、現在メキシコで生活できていることにとても感謝しています。それでもやはり全ての物事がうまくいくことはなく、当初思い描いていたような順風満帆な生活ではありませんが、臨機応変に舵を切った生活をし、十分に満足しています。

さて、年末年始はメキシコ人の家庭にお邪魔させて頂き、「メキシコ流」に過ごしました。やはりここはラテンの国、フィエスタに次ぐフィエスタです。寝正月なんてもってのほか！といった感じですね。(「フィエスタ」: スペイン語で「パーティ」)

年越しはフィエスタを「はしご」するほどで、1月1日の朝、起きた時にものすごい気だるさを感じたのを覚えています。元旦からこの調子でいいのかと少々背徳感がありました。(笑)

年が変わる瞬間はメキシコでも日本と同じようにカウントダウン

をして、<sup>フェリス アニョ ヌエボ</sup>¡Feliz Año Nuevo!と新年の挨拶をします。唯一の違いは、ハグをして挨拶をするということぐらいでしょうか。(「フェリス アニョ

ヌエボ」: スペイン語で「明けましておめでとう」)

実は、年末年始は、現在住んでいるメキシコシティではなく、ここから南にバスで3時間ほど行った小さな町・Taxco(タスコ)で過ごしました。



タスコは、漆喰やレンガの壁で揃えたコロニアル調の古い街並みがとてもかわいい、銀細工が有名な町です。

前回メキシコに留学した時に初めて住んだ場所がこのタスコで、私にとってとても思い出の深い場所です。

夜になるとオレンジ色のカンテラに照らされた夜景

が一層ロマンティックな雰囲気漂わせます。

そして、私にとって何より一番のタスコの魅力は、美味しいご飯です。ここメキシコシティとは違ったスタイルでいただく料理も魅力で、ポークの濃厚なスープに肉や大粒のトウモロコシや赤カブが入ったPozole(ポソレ)というスープは、タスコ以外では食べたくないな~と思うほど美味しいです。

やはり年末年始、日本が恋しくなるこの時期ですが、思い出のある場所でとても楽しい時間を過ごせました。